

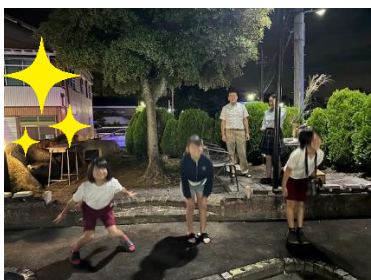
人生67年以上生きてきて振り返ってみますと、つくづく神仏のご加護の大切さを感じます。生きるか死ぬかの境も紙一重、小学生だった私は海でおぼれた時に浜辺にいた母が気付き、「誰か助けて!」と叫んでくれて、無事救助されました。37年間、無事にこの明正ゼミナールをやってこられたことも、神仏のお陰と思います。

とはいえ、私も30歳までは自己中心的でわがままな男でした。当然神や仏に対しても否定的であり、理系人間であるがゆえか、目に見えるものや数字として表れるものがこの世の全てであり真理であると思っていました。そんな私が変わったのは、30歳の時に大きな挫折を経験したことがきっかけです。人生に思い切りつまずき、苦しんだことで、ようやく今までの自分を見つめ直し、心から反省することができました。

そして、そこから私の生き方が変わり始めました。毎朝、天照皇大神、若宮様、豊川閣様の三社にお水をお供えし、十一面観音様に般若心経を唱え、そして仏壇にも手を合わせる。まずは感謝、そしてお願いをするのですが、観音様には真っ先に「明正ゼミナール生が幸せな人生を歩めますように」とお願いをします。受験で志望校に合格するのも幸せを感じるときでありましょうが、それは通過点でしかなく、真の目的ではないと思うのです。私のように、30歳になるまで人の幸せとは何かと気付かず、自分の損得ばかり気にして生きるようなバカタレにならないようにと、塾生の皆さんには願うのであります。

ところで、私が毎朝唱えている般若心経には、たった262文字の短い中にお釈迦様の悟りの核心が詰まっています。簡単に言えば、「この世のすべては変わり続けていて、ずっと同じ姿であるものなんてない。だからこそ、執着や恐れに縛られず、今という時間を大切に生きなさい」という教えです。

私たちが抱える悩みや不安の多くは、実は自分の心が勝手に作り出しているものだ、と気付かせてくれます。人生はうまくいかないことの連続ですが、それも全部、自分を成長させてくれる大切な出来事です。皆さんが塾での学びの中で知恵を育て、心も大きく成長し、それぞれの幸せな道を歩んでいけますように——私は毎朝そう願っています。



10月6日お月見をしました。
400年ぶりに中秋の名月と一粒
万倍日が重なる日ということで、
みなでお月様に感謝の気持ち
とお願いごとを唱えました。

連絡事項

11 / 3(月・祝)は 全クラス休塾
11 / 24(月・祝)は 全クラス通常授業